

漁況予報 いわし

第 1 4 4 号

2007年11～12月漁期
(2007年11月12日発行)

＝ 概況 ＝

【まいわし】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、9月が38トン、10月が61トン（速報値）で、前年同期（9月：14トン、10月：9トン）を上回ったものの、7～8月の好漁から一転し、過去5年平均並みの低調な漁模様となりました。これは、9月上旬の台風9号の被害により、相模湾西部地区の定置網が休業したことも影響しております。

魚体は、体長15cm前後の中羽（2007年級・0歳魚）が主体で、1歳以上の大型個体はほとんど見られませんでした。

佐島地区のまき網は、9月上旬にまとまった漁がありましたが、それ以降はほとんど漁がありませんでした。

2007年生まれの0歳魚は近年では高水準と考えられており、7～8月には中羽として順調に漁獲されましたが、一転して9～10月は漁獲量が減少しました。原因は明らかではありませんが、0歳魚は年内まで湾内にとどまると考えられており、11～12月の漁獲量が再び増加することも考えられます。

【かたくちいわし】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は、9月が45トン、10月が18トン（速報値）で、前年同期（9月：156トン、10月：34トン）を下回りました。また、過去5年平均比で約20%の漁獲量にとどまりました。

佐島地区のまき網は、7月から漁がほとんどありませんでしたが、10月に入りようやくまとまった群れができ、10月一杯はほぼ連日餌イワシとして漁獲しました。

魚体は、9月までは9～12cmの小型成魚が見られましたが、10月以降は6cm台の未成魚が主体となりました。

【しらす】

8月は過去5年平均並みの漁獲量でしたが、台風9号通過後の9月中旬から10月上旬まで相模湾全域で豊漁となり、9月の漁獲量は過去5年平均比で2.5倍となりました。多いときは1日・1ヶ統あたりの漁獲量が500kgを越えましたが、10月上旬以降は徐々に漁獲量が減少し、1日・1ヶ統あたり100kg前後となりました。

9月～10月にかけての豊漁は、7・8月の産卵状況が良好であったことに加え、海況面にも恵まれたためと考えられます。

＝ 予報 ＝

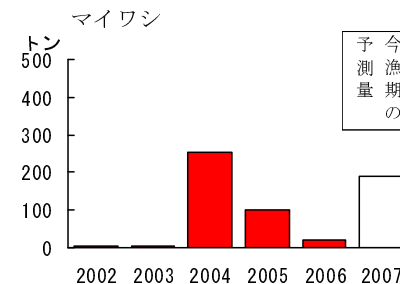
まいわし

今漁期は、今年生まれの中羽マイワシが漁獲の主体となるでしょう。

3～6月のシラス漁におけるマシラス（マイワシの仔魚）の漁獲量から、今漁期の漁獲量は、約190トンと予測されます。

* 縦軸：主要定置網+まき網

過去5年の11・12月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



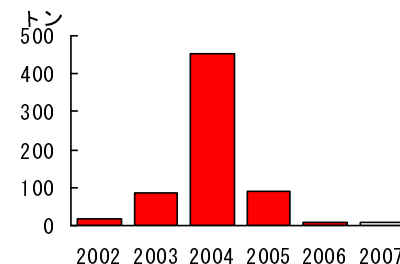
かたくちいわし

今漁期は、未成魚が漁獲の主体となるでしょう。

9～10月の県内主要定置網における漁獲量から、今漁期の漁獲量は約10トンと予測されます。

* 縦軸：主要定置網+まき網

カタクチイワシ



しらす

今漁期は、9～10月生まれのカタクチシラスが漁獲の主体となるでしょう。

10月の漁獲量から、今漁期の漁獲量は、約70トンと予測されます。

シラス

